

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

長津田地区は、人口が約4万人と、世帯数、面積ともに区内で最大の地区である。1連合、1地区社協、1地区民児協があり、連合には29の自治会で構成される。地区全体では、高齢化率は18.86%と区内で最も低いが、自治会ごとに見ると高齢化が40%に迫る自治会がある。一方で、子育て世代が多い自治会があるなど、自治会ごとの課題は様々であり、地区全体で課題を捉えるのではなく、自治会ごとの課題の確認と解決に向けた取組みが必要である。

また、令和4年度は、コロナ禍でも地域活動が再開している自治会や団体もあるが、コロナ禍以前までは復調していない。外出の機会が少なくなり「日常生活動作が低下した」「認知症が進んだ」等、要介護状態に陥ったとの相談も引き続き多くみられる。また、地域活動の停滞に伴って、担い手不足がますます顕在化してきた状況である。

これを受け、今年度は地域活動を再生すべく、地域と地域ケアプラザとのつながりを再構築すると共に、既存のネットワークを活性化させ、「地域の見守り、支え合い」を強化していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	フレイル予防を普及啓発し、自治会町内会単位の枠を超えて継続した通いの場につながるよう連続講座を開催する。
<input type="checkbox"/>	■	ケアプラザ設置の施設掲示板や自治会掲示板を活用し区内、地区内の情報を発信するとともにSNSでの発信も定期的に行う。
<input type="checkbox"/>	■	身近な地域で認知症理解を深めていくため、エリア内のキャラバンメイト「チーム長津田」と連携し、地域の商店や事業所・学校・自治会向けに「認知症サポーター養成講座」を出張で開催する。また、新たなメンバー確保としてキャラバンメイト養成研修の受講を促進する。
<input type="checkbox"/>	■	エリア内のケアマネジャーと民生委員との交流会を開催し、互いに情報交換を行える場を作り関係構築につなげる。
<input type="checkbox"/>	■	(向こう三軒両隣運営委員会)部会長会や各部会を定期的で開催できるように支援していく。「ささえあいネット部会」では地域や登録事業者の見守り活動についての意見交換会や継続した通信紙の発行を行う。また、地域ケアプラザ、区、区社協などの支援機関と連携の仕方やそれぞれの役割を検討していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ・フレイル予防 GoGo健康!!講座 『いつまでも歩こう!ストレッチ 上半期より連続講座を開催、下半期に自主グループ化して次年度以降も活動継続する方向となった。』
- ・公営住宅内での問題解決とネットワーク強化のため地域ケア会議を開催した。(2か所)
- ・エリア内2か所の拠点で移動販売が開始した。
- ・毎月の民児協定例会に出席し情報交換、ケース相談を受けながら連携につなげた。地域包括支援センター職員と民生委員の交流会を実施した。
- ・向こう三軒両隣運営委員会で高齢者部会、ささえあいネット部会が作成したチラシを全戸配布した。地域ケアプラザを知っていただく、身近に感じていただくため連合で会長向け研修「地域ケアプラザとは」を開催。「出前講座のおしながき」を作成及び各町内会に配布し13箇所の依頼有、講座を開催につながった。

区からのコメント

向こう三軒委員会への積極的な関わりや働きかけをしていただきました。今年度は特に取組の推進にケアプラザの支援が大きく寄与したと評価しています。次年度以降、「こども・子育て部会」を中心に新しい取組・計画を検討いただいております。地域との調整事項等、取組を進めるうえで、課題も出てきますが、引き続き住民の主体性を高められるよう積極的なアプローチを期待しています。事業の自主化や地域団体との交流会実施、買い物支援などを通じて、ボランティア育成やコミュニティ形成につながるような支援を行っていただきました。移動販売は2箇所新たに開始したいということもあり、支援者への課題解決に向けた取組や現状把握など課題はあると振り返りいただいておりますので、ぜひ今年度の取組で得た課題を次年度の事業計画に生かしてください。

令和5年度長津田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	市の公共施設であることを認識して、常に地域住民や利用者の視点に立った対応に心掛けます。情報提供に当たっては、正確な情報を収集した上で、分かりやすく説明します。介護保険サービス事業者を紹介する際は、複数の事業者の情報を提供し不利益が生じないようにします。	朝夕のミーティング、各部門会議にて事故報告やヒヤリハットを共有し、再発を防止します。また、コンプライアンスや個人情報保護に関する研修を全職員に実施し、法令に基づいた業務を行います。
実績	地域住民や利用者の立場に立ち、複数の選択肢の提示や丁寧な説明により、本人の自己選択、自己決定を支援し、公正中立に業務に取り組めました。また人権について職員としての心がまえを全職員に実施し住民、利用者の視点にたった対応を学びました。	年2回の職員全体会議にてコンプライアンス研修及び個人情報研修実施し、定期的に職員会議部門会議で周知を実施した。法人内のルールに従って個人情報の保護に取り組めました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	地域全体で介護予防が進められるように、地域で行われる活動への参加を意識したケアプランを作成します。また、居宅介護支援事業所への委託については、委託先が偏らないようにします。	利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるようなケアプランを作成し支援を行うと共に、利用者家族が身体的・精神的負担を軽減できるよう努めます。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 なし	【その他料金】
職員体制	常勤職員:4名 非常勤職員:2名	常勤職員:2名 非常勤職員:2名
契約者数	285名	127名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者一人ひとりの生活を大切にし、その人らしく生き活きと健康が維持できるようにサービス提供します。また、家族からの生活相談にも対応し、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるようにします。		
実施体制	【実施日数】 360日(12/29～1/3除く) 【提供時間】 10:15～15:20 【定員】 35名(第1号通所事業含む)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【1割負担】 要介護1)608円 要介護2)719円 要介護3)829円 要介護4)939円 要介護5)1,050円 入浴加算Ⅰ)43円 個別機能訓練加算Ⅰ)60円 体制強化加算Ⅱ)20円 認知症加算)65円 科学的介護推進体制加算)43円 介護職員処遇改善加算Ⅰ))所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算します。 介護職員特定処遇改善加算Ⅰ))所定単位数に(Ⅰ)1000分の12を乗じた単位数を加算します。 介護職員等ベースアップ等支援加算))所定単位数に1000分の11を乗じた単位数を加算します。 ※2割・3割負担は省略	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 昼食代 800円	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名(常勤) 生活相談員 6名(常勤3名、非常勤兼務3名) 看護師 8名(非常勤兼務8名) 介護職員 10名(常勤兼務3名、非常勤兼務7名) 機能訓練指導員8名(非常勤兼務8名)		
契約者数等	【延べ利用者数】 8680名 【契約者数】 98名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「横浜市長津田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,766,023	40,655	18,806,678	18,806,678	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	0	0	
雑入	50,000	0	50,000	13,101	36,899	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他	50,000		50,000	13,101	36,899	
その他	2,558,000		2,558,000		2,558,000	
収入合計	21,374,023	40,655	21,414,678	18,819,779	2,594,899	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,904,023	0	12,904,023	12,832,389	71,634	
本俸	10,911,023		10,911,023	10,499,883	411,140	
社会保険料	930,000		930,000	1,117,617	△ 187,617	
手当計	931,000		931,000	1,145,095	△ 214,095	
健康診断費	30,000		30,000	7,680	22,320	
勤労者福祉共済掛金	20,000		20,000	750	19,250	
退職給付引当金繰入額	82,000		82,000	61,295	20,705	
その他			0	69	△ 69	
事務費	200,000	0	200,000	2,280,611	△ 2,080,611	
旅費	20,000		20,000	14,703	5,297	
消耗品費	100,000		100,000	272,721	△ 172,721	
会議旅費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	6,000		6,000	928	5,072	
通信費	4,000		4,000	330,444	△ 326,444	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	10,000		10,000	175,670	△ 165,670	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	10,590	△ 10,590	
職員等研修費	10,000		10,000	2,336	7,664	
振込手数料	5,000		5,000	25,932	△ 20,932	
リース料	30,000		30,000	190,060	△ 160,060	
手数料			0	8,331	△ 8,331	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他			0	1,248,896	△ 1,248,896	
事業費	2,420,000	0	2,420,000	28,221	2,391,779	
運営協議会経費			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,378,000		2,378,000	28,221	2,349,779	
その他	42,000		42,000		42,000	
管理費	5,326,000	0	5,326,000	4,808,109	517,891	
光熱水費	2,200,000		2,200,000	2,524,551	△ 324,551	
清掃費	930,000		930,000	1,010,038	△ 80,038	
機械警備費	235,000		235,000	232,180	2,820	
設備保全費	615,000	0	615,000	536,191	78,809	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	126,056	73,944	
消防設備保守	45,000		45,000	26,029	18,971	
電気設備保守	100,000		100,000	76,333	23,667	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	25,445	4,555	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	240,000		240,000	282,328	△ 42,328	
共益費			0	82,356	△ 82,356	
その他	1,346,000		1,346,000	422,793	923,207	
修繕費	474,000		474,000	316,124	157,876	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,324,023	0	21,324,023	20,265,454	1,058,569	
差引	50,000	40,655	90,655	△ 1,445,675	1,536,330	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	2,378,000	0	2,378,000	28,221	2,349,779
自主事業 収支	△ 2,378,000	0	△ 2,378,000	△ 28,221	△ 2,349,779

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各々大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市長津田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,967,616		29,967,616	29,967,616	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,874,246		5,874,246	5,874,246	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	48,000		48,000		48,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			6,846,000		6,846,000	
雑入	0	0	0	85,054	△ 85,054	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	85,054	△ 85,054	
その他	6,846,000		6,846,000		6,846,000	
収入合計	42,889,862	0	42,889,862	36,080,916	6,808,946	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	38,324,912	0	38,324,912	35,019,279	3,305,633	
本俸	23,564,300		23,564,300	17,518,776	6,045,524	
社会保険料	3,893,507		3,893,507	4,580,220	△ 686,713	
手当計	9,681,724		9,681,724	11,738,871	△ 2,057,147	
健康診断費	41,710		41,710	24,261	17,449	
勤労者福祉共済掛金	32,250		32,250	15,750	16,500	
退職給付引当金繰入額	1,109,565		1,109,565	1,138,445	△ 28,880	
その他	1,856		1,856	2,956	△ 1,100	
事務費	250,000	0	250,000	1,272,916	△ 1,022,916	
旅費	25,000		25,000	37,762	△ 12,762	
消耗品費	60,000		60,000	258,847	△ 198,847	
会議贈り費	7,000		7,000	0	7,000	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	10,000		10,000	453,781	△ 443,781	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	94,050	5,950	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	2,815	185	
職員等研修費	10,000		10,000	25,002	△ 15,002	
振込手数料			0	7,118	△ 7,118	
リース料	20,000		20,000	50,520	△ 30,520	
手数料	5,000		5,000	1,996	3,004	
地域協力費			0	0	0	
その他	0		0	341,025	△ 341,025	
事業費	2,726,950	0	2,726,950	271,872	2,455,078	
協力医	630,000		630,000	126,000	504,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,722,950		1,722,950	3,489	1,719,461	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	142,383	11,617	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000		220,000	
その他			0		0	
管理費	1,414,000	0	1,414,000	1,459,285	△ 45,285	
光熱水費	800,000		800,000	671,083	128,917	
清掃費	250,000		250,000	268,490	△ 18,490	
機械整備費	61,000		61,000	61,718	△ 718	
設備保全費	303,000	0	303,000	142,527	160,473	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	33,508	16,492	
消防設備保守	7,000		7,000	6,918	82	
電気設備保守	22,000		22,000	20,291	1,709	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,763	237	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	217,000		217,000	75,047	141,953	
共益費			0	21,891	△ 21,891	
その他			0	293,576	△ 293,576	
修繕費	126,000		126,000	73,224	52,776	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	42,841,862	0	42,841,862	38,096,578	4,745,286	
差引	48,000	0	48,000	△ 2,015,660	2,063,660	

自主事業費 収入	48,000	0	48,000	0	48,000
自主事業費 支出	2,096,950	0	2,096,950	145,872	1,951,078
自主事業 収支	△ 2,048,950	0	△ 2,048,950	△ 145,872	△ 1,903,078

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 長津田地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:長津田地域ケアプラザ

R5年4月1日~R6年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	14,163	16,019	-1,856	21,280	20,099	1,181	72,337	72,824	-487			0
	その他	0	0	0	0	0	0	1,160	265	0	7,756	6,893	-69	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			69			-69
	収入合計(A)	0	0	0	14,163	16,019	-1,856	22,440	20,364	2,076	80,093	79,717	376	0	0	0
支出	人件費			0	5,479	5,415	64	15,988	15,671	317	49,911	54,641	-4,730			0
	事務費			0	16	8	8	63	37	26	717	916	-199			0
	事業費			0	44	28	16	893	1,059	-166	18,427	18,031	396			0
	管理費			0			0			0	7,790	7,913	-123			0
	その他			0	7,611	7,346	265	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	7,611	7,346	265			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	13,150	12,797	353	16,944	16,767	177	76,845	81,501	-4,656	0	0	0
	収支(A)-(B)	0	0	0	1,013	3,222	-2,209	5,496	3,597	1,899	3,248	-1,784	5,032	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	介護者のつどい	平成30年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護を行っている地域住民が、孤立せず介護に向き合えるようにする。	5：地域		介護者同士の語らいや交流の場を提供すると共に、具体的な介護技術やリフレッシュ方法を伝える。	6	41
2	エンディングノート		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	終活の一環として「エンディングノート」を実際に作成する。	1：高齢者		メディア等で取り上げられている終活の一環として「エンディングノート」を実際に作る方法を伝える。	1	14
3	もしも手帳		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	「もしも」手帳の使い方、活用方法を地域へ伝える。	1：高齢者		もしもの時に必要なものが揃っているグッズ「もしも」手帳の使い方、活用方法を地域へ伝える。	1	14
4	介護保険のいろは		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が安心して暮らし続けるために、いざという時に、どんな介護保険サービスがあるのか知る機会を設ける。	1：高齢者		介護認定を受けた場合、どんな介護保険サービスが使えるのか、また相談窓口について伝える。	6	80
5	緑区生活支援Co連絡会ICT活用班主催事業	令和4年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が抱えているICT活用への抵抗感を低減する。	1：高齢者		年間2～3回程度、2か所以上のCP合同でオンライン講座を開催する。	1	54
6	移動販売連絡会		3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	移動販売を通じて、地域住民との関係構築、地域コミュニティ形成、新たな担い手を発掘する。	5：地域		年1～2回程度。エリア内の移動販売拠点の情報交換等の場とする。	0	0
7	親子サロン「ほっと・るむ長津田」	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て世帯が孤立することなく、安心して子育てができる地域づくりを促進する。	3：養育者及び乳幼児		地域のボランティアによる親子で集うサロン。おもちゃや季節に合わせた歌などで、交流する。 ●毎月、第1・2水 10:00～11:30	22	680
8	中途障がい者ポッチャサークル「遊遊クラブ」	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	脳血管性後遺症等の中途障がい者を対象に閉じこもり防止し、当事者同士の仲間づくりや交流・生活意欲の向上等を促進する。	2：障害児・者		主に地域の脳血管性後遺症等の中途障がい者を対象に、「リハビリのため「ポッチャ」を行う。また、年に数回、地域住民との対戦「ながびよんカップ」にて交流試合を行う。 ●毎月、第2・4土 10:00～12:00	24	263
9	地域活動支援センター「あしたば工芸」出店事業	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	「あしたば工芸」の対象者である「精神障がい者」と地域住民が、物販を通じた交流を促進する。	5：地域		「あしたば工芸」の自主製品であるクッキー等を利用者が販売する機会を提供する。 ●毎週金 10:30～12:15	49	600
10	ふれあい喫茶「もちーふ」	平成7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害者と地域住民との交流を促進する。 ※コロナ禍で活動休止中。	5：地域		長津田地域の障害者通所施設「横浜市つたのは学園」の利用者と家族会、ボランティアによる喫茶室の運営 ●毎月、第1木 10:00～14:00(ラストオーダー13:30)	0	0
11	コーディネーターハウス	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	区民に広く「地域活動交流コーディネーター」業務を周知し、円滑な地域活動交流事業の推進を図る。	5：地域		地域活動交流事業紹介パネル展示、研修報告 等	3	129
12	あおぞらといっしょ	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	長津田地区在住の障害児者とその保護者を対象とし、コロナ禍で集える場を基幹相談支援センター「あおぞら」と共催でポッチャ大会を隔月開催する。	2：障害児・者		奇数月最終日曜日13:00～15:00	6	110
13	あおぞらといっしょふれあいコンサート	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	「あおぞらといっしょ」に参加した障がい者の演奏会を基幹相談支援センター「あおぞら」と共催で長津田地区在住の方を対象とし、障がい者理解のため年2回開催する。	2：障害児・者		・ギター演奏 ・ピアノ演奏	0	0
14	食支援	令和2年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	「食」にお困りの方を対象として、長津田地区の支え合いによる食支援(食品の寄付募集+配分会)を実施する。	5：地域		常温保存可能な食品、未開封の食品、賞味期限まで2カ月以上の食品等の寄付を6月、11月に募集し、7月、12月に配分会を実施。	2	82

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	ボランティア交流会	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域で活動されている貸館利用団体やボランティアに、日頃の感謝を伝えるとともに、ボランティア相互の情報共有や連携を目的として、開催します。さらにボランティアの活性化、ネットワーク化を目指す。	5:地域		団体・自己紹介、GW悩んでいる事等	0	0
16	消費者被害講座		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民や民生委員、介護支援専門員を対象に、消費者被害についての啓発を行い予防を促進する	5:地域		全国消費生活相談員協会による研修を受けたボランティアに講義を依頼、6月に開催予定	1	15
17	認知症サポーター養成講座		5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域の事業所や住民が認知症についての理解を深め、認知症当事者が暮らしやすい地域を作る	5:地域		地域の商店街や店舗向けに講座を開催する	1	9
18	任意後見制度・遺言書講座		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	法定後見利用前の任意後見制度について啓発を行い、合わせて遺言書作成についても学ぶ	5:地域		地域住民向けに司法書士から講義を行う	0	0
19	支援者の視点から考える「暮らしを守る家計講座」		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	生活に困窮されている方の相談を受けた時に知っておくと安心な家計に関する情報や支援について学ぶ	5:地域		生活支援課の協力を得て、家計相談員・ファイナンシャルプランナーである講師により支援者に向けた家計講座を実施。	0	0
20	長津田おたのしみ会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍での高齢者の居場所づくりのため、また、団体Ⅱのボランティア活動の場づくりのため実施。	1:高齢者		高齢者の居場所づくりのため、また、団体Ⅱのボランティア活動の場づくりのため実施。	10	234
21	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会		1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域で活躍するボランティア養成や、高齢者がボランティア活動に参加されるきっかけづくりとして実施。	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイント登録研修会のルールに沿って研修を行うとともに、ケアプラザで募集しているボランティア活動の情報提供を行う。年1回実施	1	12
22	親子で食育とクッキング体験会	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	緑区ヘルスメイトの働くママへの食育をテーマとした活動支援、および長津田地域ケアプラザ周知のため、また、親同士が交流するきっかけづくりの場として実施します。	3:養育者及び乳幼児		8月19日(土) 10:00～12:00 緑区ヘルスメイト長津田による(1)食育講座(2)調理体験:チーズとろけるカラフルオムレツを実施。	2	50
23	出前講座(老人ホームについて)		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	老人会からの要望で老人ホームの種類や費用について案内(紹介会社スタッフを講師として招致)	1:高齢者		12/13(水)10:00～11:00 御幸通り自治会館にてエスコートシニアサポートセンター職員による講義	2	31
24	パパ育児応援講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	長津田地区に在住する父親を始めとした子育て世帯が、仲間作りや相談場所を見つけたきっかけづくりや、個々の課題の把握・解決の場	3:養育者及び乳幼児		7月:体を使った遊び&読み聞かせ 等 9月:学ぼう乳幼児の安全&小児救急 10月:はじめての一步&イライラしない子育て 2月:「仕事×子育て」両立方法&座談会	4	52